

県内金融機関頭取ら

日銀が政策金利を1・0％程度へ引き上げることを決めたことを受け、県内金融機関頭取らは地域経済の持続的な成長や金融機関の役割の高まりを見込んだ一方、企業や家計への影響を注視しながら顧客支援に取り組んでいく姿勢を示した。

十六銀行の石黒明秀頭取は「資産形成や資金調達における金融機関の役割は一層高まるものと考えている」との認識を示した。その上で「お客さまのニーズに応えるべく、グループ総合力を生かした質の高い金融サービスを提供し、地域社会の持続的発展に貢献していく」とコ

メントした。

大垣共立銀行の林敬治頭取は「国内外の経済情勢などを踏まえた判断」とした一方、金利環境の変化は企業や家計に影響を及ぼす可能性がある」と指摘。「お客さまとの対話をより大切に、安心感と質の高い金融サービスの提供を通じ地域経済の持続的発展に貢献していきたい」とした。

岐阜信用金庫の好岡政宏理事長は「国内経済の持続的な成長を実現するための適切な対応。地域経済に与える影響を分析し、迅速に対応する」とコメント。「企業や家計は借入れに対する利払いが増えるため、お客さまとのコミュニケーションの機会を増やしたい」とした。

「質高いサービス提供」